

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：あぶりこっと保育園エミタス久本	種別：認可保育園
代表者氏名：古田 真理	定員（利用人数）：40名
所在地：〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本2-8-18	
TEL：044-982-9507	ホームページ：https://emitus.ed.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：(株)アプリコット倶楽部	
職員数	常勤職員：9名 非常勤職員：15名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：17名 調理士：1名
	幼稚園教諭：7名 子育て支援員：5名
施設・設備 の概要	（居室数） 保育室2室
	（設備等） 調理室
	食事室
	トイレ
	多目的室
	職員室
	相談室
	シアター
沐浴	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

モンテッソーリ教育を基本とし、家庭的な雰囲気の中で子ども一人ひとりの思いを受け止め、子どもからも保護者からも信頼される居心地の良い園を目指します。

## &lt;保育方針&gt;

十分に養護の行き届いた家庭的で暖かい雰囲気の中で、一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、将来を生き抜くたくましい心と体づくりをします。

## &lt;保育目標&gt;

「自立していて、有能で、責任感と他者への思いやりがあり、生涯学び続ける姿勢をもった人間を育てる」を目標とします。また知的・道徳的・身体的発達の基礎が作られる、大切な時期の保育を進めていくために、次の3項を保育の軸としていきます。

- ①健康で元気に活動する力を育てる
- ②自分で考えて行動する力を育てる
- ③豊かでおもいやりのある優しい心を育てる

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

〈あぶりこっと保育園エミタス久本の特徴的な取り組み〉

- モンテッソーリ教育の導入
- 外部専門講師によるレッスン（英語・リトミック・キッズダンス・体操）
- 食育活動（食育アドバイザー）

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年06月03日（契約日） ～ 2022年03月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

#### ⑥総評

【あぶりこっと保育園エミタス久本の概要】

●あぶりこっと保育園エミタス久本は、株式会社アプリコット倶楽部（川崎市高津区新作）が開設・運営している保育園です。同社は、2015年7月に設立され、不動産の売買、賃貸、管理、保有等を主たる事業としていますが、「地元には様々な人が交流できるような施設を作りたい」という代表の思いから、同一建物内での不動産事業と福祉事業の複合事業を企画しました。実践として、同一建物内にシェアハウスと保育園を配した施設を2017年、高津区溝の口3丁目に開設し、「アプリコット保育園246」（小規模保育事業C型）を開園しました。さらに、0才児から5才児までの保育園を展開し、2020年、高津区久本2丁目に「あぶりこっと保育園エミタス久本」を開設しました。ここでは、地域交流の機能を持たせるため、建物内に保育スペースとは別に、地域開放スペースを配置しています。利点として、建物内を相互に行き来ができるため、保育時間中は地域開放スペースを保育園が利用し、ランチルーム、レッスンルーム、職員用休憩室等としても活用しています。

●あぶりこっと保育園エミタス久本は、東急田園都市線溝の口駅・JR南武線武蔵溝ノ口駅より徒歩7分程度の所に位置しています。園舎付近一体は、第一種中高層住居専用地域であり、マンションが多く建ち並んでいます。とはいえ、東側は浄土宗大蓮寺の敷地であり、また、北側は久本公園であるため、樹木が多く、園からの眺めは季節の変化を感じ取ることができる自然豊かな環境にあります。園には屋外園庭はありませんが、久本公園を園庭のように利用しています。

●川崎市は、児童福祉法による保育所としての認可を受けていない保育施設を「地域保育園」と定義しています。あぶりこっと保育園エミタス久本は、開園した2020年度は、「地域保育園」としてスタートしました。しかし、2020年度中に川崎市が定めた一定の保育基準を満たし、2021年度から「川崎市認定保育園」となりました。園では、引き続き条件整備を進め、児童福祉法が定めた設置基準をクリアし、認可されたことで、2022年度からは「認可保育園」としての運営が始まります。

◇特に評価の高い点

1. 【外部専門講師によるレッスンやモンテッソーリ教育の導入】

●園では、リトミック（月2回）、イングリッシュタイム（月2回）、ダンス（月2回）、体操（月2回）、と4つのプログラムを、外部専門講師を招いて開催しています。これらのプログラムは、希望者のみではなく、基本的には全園児を対象にして保育時間中（午前中）に行っています。また、イタリアの教育家マリア・モンテッソーリ（1870～1952）が考案した「モンテッソーリ教育」に基づく学びの時間も設定しています。「モンテッ

ソリー教育」は、「子どもには、自分で自分を教育する力がある」という自己教育力の考えを基にした教育法です。毎月2回、園長自らが教育に当たっています。

## 2. 【充実した食育活動】

●園では、毎月1回、「食育の日」を設定し、食育に力を入れています。食育の内容として、第一に、食事のルール、マナーの学習を設けています。具体的には、(1)手洗い、歯磨き、虫歯予防といった衛生面、(2)食事開始前後の挨拶、スプーンや箸の持ち方等のマナー面、について学びます。第二に、食べ物について知る学習があります。まず、野菜の実物を見る、それぞれの野菜の断面を見る、匂いを嗅ぎ、触るといったところから始めます。そして、次には、屋上園庭で、野菜の種まきや稲の苗植え等を行い、水やりをしながら成長を観察し、収穫まで行います。第三は、調理の学習です。とうもろこしやそら豆の皮を剥く、きのこをほぐす等から始め、後には親子クッキングのイベントにもつなげています。第四は、楽しめる食べ方の工夫です。おやつのパイキング等を楽しんでいます。このように、食に関する様々な取り組みにより、子どもたちが食に興味、関心を持てる機会を提供しています。

## 3. 【清潔でゆとりのある保育スペース】

●園の建物は、保育用のスペースと地域に開放するスペースとを、空間的には分離させつつ、建物としては一体のものとして設計されています。地域開放用スペースは、貸し出す時間帯が、基本的には夜間であるため、保育時間中はレッスンルームやランチルームとして使用することができます。こうしたスペースがあることに加え、保育室自体も広い面積を確保しているので、全体としてゆとりを持った保育活動を行うことができます。建物が完成してまだ日が浅い(2021年12月現在)こともありますが、清掃は念入りに行われており、清潔な状態を保っています。利用者アンケートでも「清潔感」を評価する声が多いことから裏付けられています。

◇改善を求められる点

### 1. 【優秀な保育人材の確保】

●園は、事業運営上の課題の一つとして、職員確保を挙げています。保育士不足は業界全体の課題ですが、これに対処するために、運営会社としても、採用ホームページを充実させる、ハローワークや求人サイトに登録する等、採用活動を強化しています。また、職員休憩室やロッカー付き更衣室の設置、給食費や住宅費の補助等、厚生面にも力を入れています。しかしながら、慢性的な保育士不足の状況下においては、求職者が重視する福利厚生を整えることが求められるところです。ある調査では、労働者が希望する福利厚生の上位は、1位一昼食補助、2位一住宅補助、3位一割引制度、となっています。当園では、1位、2位は導入済みですので、今後は、割引制度についても導入が期待されます。川崎市の川崎市勤労者福祉共済(かわさきハッピーライフ)等に参加するのも一案と考えられ、ご一考を期待します。

### 2. 【職員定着率の向上】

●園が、事業運営上の課題としているもう一つの項目が、職員定着率の向上です。職員の定着率については、早期退職者や年度途中の退職者が出た場合、既存職員にとっては、退職者が担っていた分をカバーするという負担が増える等、新たな退職に結びつく要因を回避する対策が求められます。とりわけ、保育士資格保持者で、かつ常勤職員でなければ担えない業務については、既存職員に負担・責任が集中しがちです。こうした負担を減らすには、やはり保育士資格取得者の人員増が必要となります。そのためには、求職者が重視する待遇を整えることも視野に入れながら、求職者から選ばれる保育園とな

ることが望まれるところです。前向きなご検討を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： あぶりこっと保育園エミタス久本

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

職員一人ひとりの意見や思いを話す機会が無かったので、調査者の方々に話す事ができ、良かったと思う。

改めて保育理念を確認したり、保育を深く考える時間となり、有意義であった。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり